

# エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム修士課程 奨学生募集要項 2016-18



エラスムス・ムンドゥス奨学生として、  
ヨーロッパ各地の大学に留学してみませんか？

豊富なカリキュラムを通じ、現代ヨーロッパの文化・社会・政治について、  
EU 圏内の複数大学で多角的に学べるプログラムです。大阪大学大学院文学研究科では、  
毎年プログラム参加者を募集しています。

大阪大学では、EU 圏の複数大学へ留学する奨学生を募集しています。

選考を通過した学生は、二年間で **48,000 ユーロ(約 630 万円)** の奨学金を得て、留学することができます。(返還の必要はありません)

## ～選考の流れ～

① 2015 年 11 月 6 日(金) 応募書類の提出締め切り



② 2015 年 11 月 12 日(木)  
第 1 次選考(於大阪大学)  
書類審査および面接



③ 2015 年 12 月(予定)  
第 2 次選考  
(ユーロカルチャー・プログラム  
運営委員会)  
書類審査  
(スカイプ面接が課される場合有)



④ 2016 年 2 月  
採用決定

### ※基準スコア

TOEFL 580 (IBT:92)、IELTS6.5、もしくはケンブリッジ英検 (CAE) C1 以上が望ましく、この段階の選考においてはいずれかのスコアを証明する書類の提出が必要です。書類の発行に時間がかかることが予想されますので、応募をお考えの方は余裕を持って準備をしておいてください。

なお、応募書類の中でも特に、**留学の動機 (motivation paper)**と論文または論文要旨(英文)が審査の際に重視されます。

留学の動機に関しては、どれほど本プログラムの趣旨に合ったものであるのか、英文レポートに関しては、応募者が十分な英語での論述能力を有しているかが審査のポイントとなりますので、この点を十分に考慮しつつ作成するようにしてください。

(ユーロカルチャー・プログラムの趣旨に関してはユーロカルチャー・プログラムのホームページも参照してください。

URL:<http://www.euroculturemaster.eu/Prospectivestudents/Default.aspx>)

2012 年度の奨学金実績は、

- ①登録料(入学金・授業料・保険料)として 16,000 ユーロ、
- ②毎月 1,000 ユーロ、
- ③旅費その他の諸費用分として 8,000 ユーロです。

なお、入学に際し、①登録料(入学金・授業料・保険料)はユーロカルチャー修士課程コンソーシアムの事務局が置かれているグローニンゲン大学に納入されます。

## ユーロカルチャー修士課程

「ユーロカルチャー修士課程」(Euroculture Master Programme)では、下記の12大学がコンソーシアムを構成しています。

### EU 圏内 8 大学 (8 European Institutions)



ウプサラ大学(スウェーデン 1477-)

Uppsala Universitet / Uppsala University

オロモウツ大学(チェコ 1573-)

Univerzita Palackého v Olomouci / Palacký University in Olomouc

クラクフ大学(ポーランド 1364-)

Uniwersytet Jagielloński w Krakowie / Jagiellonian University in Krakow

グローニンゲン大学(オランダ 1614-) **\*コンソーシアム事務局**

Rijksuniversiteit Groningen / University of Groningen

ゲッティンゲン大学(ドイツ 1737-)

Georg-August-Universität Göttingen / University of Göttingen

デウスト大学(スペイン 1886-)

Universidad de Deusto / University of Deusto

ウーディネ大学(イタリア 1978-)

Università di Udine / University of Udine

ストラスブール大学(フランス 1621-)

Université de Strasbourg / University of Strasbourg

### EU 圏外 4 大学 (Third Country Partner Institutions)



インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス(アメリカ合衆国 1969-)

Indiana University Purdue University Indianapolis

プーネ大学(インド 1949-)

University of Pune

メキシコ国立自治大学(メキシコ 1910-)

Universidad Nacional Autónoma de México / National Autonomous University of Mexico

大阪大学(日本 1931-) Osaka University

ユーロカルチャー修士課程に入学すると、上記 EU 圏内 8 大学のうち 2 つの大学で 2 年間学び(阪大からの EU 圏外 3 大学の選択は不可)、課程を修了すれば Master of Arts の学位が与えられます。また、第 II セメスターの終りの 6 月には 8 大学のいずれかにおいて、後述の集中セミナー(IP: Intensive Programme)が開催されます。授業は原則として英語で行われることになっていますが、デウスト大学・ウーディネ大学・ストラスブール大学ではそれぞれスペイン語・イタリア語・フランス語で指導が行われる場合もあります。詳しくは、以下の公式 HP を参照してください。

<http://www.euroculturemaster.eu>

## ユーロカルチャー修士課程の概要

学生はまず EU 圏内 8 大学のいずれかに登録します。ユーロカルチャー修士課程には、研究コース(Research Track)、そして専門職コース(Professional Track)の 2 つのコースがあります。いずれも 2 年間 4 セメスター制からなり、期間中に 120ECTS(単位)を取得します。第 II セメスターと第 III セメスターの間に、「集中セミナー(IP)」が行われます。これは、ユーロカルチャー修士課程の全学生と、多数の教授が参加する 10 日間の国際セミナーで、毎年 EU 圏内 8 大学のいずれかを会場にして開催されます。

なお、本課程修了生の多くは、EU 諸機関や NGO といった国際機関のほか、外交、教育、文化行政、出版・報道など多様な分野において活躍しています。また、博士後期課程へと進学し、さらに専門性を高めようとする修了生も少なくありません。



## ユーロカルチャー修士課程の目的

The MA Programme “Euroculture, Europe in the Wider World” aims to prepare graduates from all over the world for professions and research areas in which knowledge of present Europe and the European Union institutions are of relevance. The focus of the programme is on cultural and social developments, the political process of European integration, values, citizenship and cultural identity. The programme teaches students the methods and skills required to identify the European dimensions of social problems, to collect and process relevant information of European institutions and organisations and to reflect on the cultural aspects and factors that play a role in the process of European identity formation and European integration. (公式 HP より)

## ECTS について

**ECTS:** The European Credit Transfer and Accumulation System (単位互換積算制度)

ヨーロッパ単位互換積算制度とは、プログラムの目標達成に必要な学習量にもとづく、学生本位の単位システム(Student-Centred System)です。フルタイムの学生が1学年の間に修得する総単位を 60 単位とする、という原理に基づいています。ヨーロッパにおけるフルタイムの勉強プログラムのために学生に要求される授業の総時間は、一般に1年間 1,500 時間から 1,800 時間であり、個々の科目の単位は予め公示されたプランに基づき認定されることになります。

## Eurocompetence とは

Eurocompetence とは、ユーロカルチャーの学生に自らの職業生活を準備させ、専門職の分野での就職可能性を高めることを目的とする、ユーロカルチャー独自の学際的な単位科目です。その学習内容は、プロジェクトに関連した特別なケース・スタディとグループワークによって、学問的スキルと専門職の分野での知識を統合することに注意を向けさせるものです。

具体的には、(I)課程の修了に必要なとされる様々な主要能力の訓練、(II)グループ・プロジェクトの実行を通した、多文化コミュニケーション能力の訓練、そして(III)個々のプロジェクトへの応用、から成っています。(I), (II)にはそれぞれ 5ECTS、(III)には 10ECTS が配当されます

## ユーロカルチャー学位取得までの流れ

### 第Ⅰセメスター(9月～1月) **30** ECTS [滞在先は登録大学(Home University)]

EU 圏内 8 大学のいずれにおいても、共通の入門科目として主要科目(Core Courses)及び Eurocompetence 科目が開講されています。10 月頃に第Ⅱセメスターの受入れ大学を決定します。

- Core Concepts of European Society, Politics, and Culture (25)
- Eurocompetence I (5)

### 第Ⅱセメスター(3月～6月) **25** ECTS [滞在先はEU圏内の別の大学(Host University)]

この期間は、事前に専門分野に応じて選択した2つ目の大学に滞在します。

Eurocompetence 科目はどの大学でも継続されます(5ECTS)。修士論文の作成を開始します。

- Eurocompetence II (5)
- Research Seminar: Europe in the Wider World <sup>[1]</sup> (10)
- Methodology & Theory Seminar (10)

[注 1] 主題は、滞在する大学の専門分野に依る。

### 集中セミナー(6月) **5** ECTS [EU 圏内 8 大学のうちのいずれかで実施]

集中セミナーでは 10 日間にわたって、第Ⅰ・第Ⅱセメスターで学習したことを主題に、学術的・社会的観点から研究発表・討論が行われます。

- IP Participation (5)

### 第Ⅲセメスター(9月～12月) **30** ECTS[滞在先は Home University/Host University]

このセメスターで、学生は更に文化・社会・政治などに関する研究を深めます。

研究コースの学生は研究セミナー(25ECTS)を受講し、専門職コースの学生はインターンシップ(25ECTS)に従事します。また、セメスター終了時には修士論文のアウトラインを提出します(5ECTS)。

- Research Seminar/Internship <sup>[2]</sup> (25)
- Thesis Outline/Proposal (5)

[注 2] 研究コースの学生は研究セミナーを、専門職コースの学生はインターンシップを受ける。

### 第Ⅳセメスター(2月～6月) **30** ECTS [滞在先は Home University/Host University]

最後の Eurocompetence 科目(5ECTS)を履修します。また、6月1日までに修士論文(25ECTS)のファイナルドラフトを指導教員に提出し、指導教員のコメントを基に7月1日までに完成させます。

- Eurocompetence III (5)
- Master Thesis (25)

### 学位の取得

ユーロカルチャー修士課程に参加し、必要な単位(120 ECTS)を修得した学生は、Home University と Host University の両方から修士号(Master of Arts)を受けることができます。

# 応募要領と選考

## ○応募資格

大阪大学大学院文学研究科の推薦を経てユーロカルチャー修士課程(2016年9月～)に応募できるのは、以下の方です。

大阪大学の卒業者(見込みを含む)、大阪大学大学院の在籍者・修了者(大阪外国語大学外国語学部卒業者および同大学院修了者を含む)で、ユーロカルチャーに関連する分野で学士号を取得した者。

※例えば地域研究、カルチュラル・スタディーズ、国際関係論、歴史学、宗教学、言語学、文学、哲学、政治学、法学、人類学、心理学、社会学、その他の関連する研究

※応募の目安となる英語力としては、TOEFL 580 (IBT:92)、IELTS6.5、もしくはケンブリッジ英検 (CAE) C1 以上であることが望ましく、いずれかのスコアの証明書を大阪大学に提出していただきます。ただし、応募資格とはせず、それ以下のスコアであっても応募可能です。

## ○応募書類

応募者は、下記の要領で書類1～9を提出しなければなりません。

1. インターネット上の応募画面に必要事項を入力し、ブラウザの印刷機能を使って入力事項の確認画面を印刷してください。(下図は入力画面の見本)

(※2016-18への申請画面は10月中頃公表予定。

参考:2015-17への申請画面

<http://euroculturetest.ws05.pageflow.nl/AdmissionsFinancing/Onlineapplicationtool2015-17/Default.aspx>)

2. 卒業証明書ないし卒業見込み証明書(英文)
3. 成績証明書  
(英文・学部および大学院)
4. 履歴書(英文)
5. 留学の動機  
(英文・スペース込みで4000字(characters))
6. 論文  
(英文以外の場合、英語200語程度での論文の要旨が必要)
7. 推薦書 (英文・2名からの推薦書。  
1名は大阪大学の教員とする)
8. パスポートのコピー
9. TOEFLもしくはIELTS、CAEの証明書
10. カラー写真 (パスポートサイズ1枚。  
写真の裏に氏名をローマ字で記載すること。)

※5と6は選考の際特に重視されます。

## ○応募期間

2015年10月19日(月)  
～11月6日(金)(17時まで)

## ○書類提出先

文学研究科教務係

## ○募集人数

若干名

The screenshot shows a web form titled 'Initial questions:'. It contains several sections with questions and input fields. The questions are: 'Did you apply for the Euroculture Programme before?', 'Do you want to apply for an Erasmus Mundus scholarship?', 'Will you complete your BA degree before September 2013 and be able to provide us with scans of your diploma and transcripts of records by then?', 'Preferred partner universities:', 'Preferred university 1:', 'Preferred university 2:', 'Preferred university 3:', 'Key personal details:', 'Name:', 'Date of birth:', 'Gender:', 'Disabled:', 'Marital status:', 'Number of children:', 'Email address:', 'Mobile number:', 'Address:', 'Postcode:', 'Town:', 'Country:'. The form is filled out with the following information: 'Did you apply for the Euroculture Programme before?' is 'No'; 'Do you want to apply for an Erasmus Mundus scholarship?' is 'No: I want to apply as a self-financing student'; 'Will you complete your BA degree before September 2013 and be able to provide us with scans of your diploma and transcripts of records by then?' is 'Yes'; 'Preferred partner universities:' lists 'Rijksuniversiteit Groningen', 'Uniwersytet Jagielloński w Krakowie', and 'Università degli studi di Udine'; 'Preferred university 1:' is 'Rijksuniversiteit Groningen'; 'Preferred university 2:' is 'Uniwersytet Jagielloński w Krakowie'; 'Preferred university 3:' is 'Università degli studi di Udine'; 'Key personal details:' includes 'Name: Handai, Taro', 'Date of birth: 01/05/1990', 'Gender: male', 'Disabled: No', 'Marital status: Single', 'Number of children: 0', 'Email address: inter@iet.osaka-u.ac.jp', 'Mobile number: 09068506409', 'Address: 1-15 Toyonaka Machikane', 'Postcode: 5608532', 'Town: Toyonaka, Osaka', 'Country: Japan'. At the bottom, there are two buttons: '<< Back' and '>> Continue'.

## ○留学期間

2016 年 9 月前後(留学先の大学によって学期開始時期は異なる)から 2 年間

## ○選考

書類選考と面接により推薦者を選抜します。

面接は下記の要領で行われ、語学力と留学の動機が重視されます。

面接日時:2015 年 11 月 12 日(木) 13 時より(予定)

集合場所:文学研究科国際連携室(文法経本館 1 階)に 12 時 50 分までに集合

## ○選考結果

文学研究科教務係掲示板にて発表します。採択者に対しては別途通知します。

※なお、大阪大学による選抜の後に、ユーロカルチャー・プログラム運営委員会による審査があります。その際、スカイプによる面接が行われる場合があります。

## ○問い合わせ

文学研究科国際連携室(Tel.06-6850-6409、e-mail: [inter@let.osaka-u.ac.jp](mailto:inter@let.osaka-u.ac.jp))

# 単位の互換・その他

## 留学期間中の身分および単位の互換

ユーロカルチャー修士課程に参加して、関係大学に留学する場合、大阪大学大学院生は本学の留学制度(単位互換制度)を利用することができます。ユーロカルチャー修士課程で履修した単位を、大阪大学文学研究科では所定の手続きを経た上で 10 単位まで修了単位として換算することが可能です。そのためにはユーロカルチャー修士課程の登録料と、大阪大学の授業料を納める必要があります。

## 留学中の宿泊について

留学中の宿泊については、その大学の学生寮が使用できる場合もありますが、そうでない場合、各自で探す必要があります。

学生寮の使用の可否に関しては、留学先の大学に問い合わせてください。

## EU とエラスムス計画

欧州連合(European Union: EU)では同連合加盟各国の大学間で大規模な人的交流を進めています。これを「エラスムス計画」(Erasmus Programme)と称します。この計画は欧州共同体(European Community: EC)によって 1987 年に開始され、The European Community Action Scheme for the Mobility of University Students の略から ERASMUS と命名されたとされています。



## Erasmus Mundus

## EU と世界:エラスムス・ムンドゥス計画

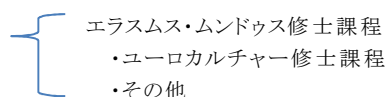
ムンドゥス Mundus とはラテン語の「世界、宇宙」を表す語です。エラスムス計画にこの語を添えた「エラスムス・ムンドゥス・プログラム」(Erasmus Mundus Programme)とは、欧州連合内の各大学と欧州連合外の諸大学との人的交流を図る、いわば「エラスムス計画・世界版」です。

この計画のもとに、欧州連合内の様々な大学がチーム(コンソーシアムと呼ばれます)を組み、多くの「エラスムス・ムンドゥス修士課程」(Erasmus Mundus Master Programme)が提供されています。各コンソーシアムに応募して採択されれば、欧州連合外の学生がヨーロッパ内の 2 つの大学で学ぶことができます。



## エラスムス計画・エラスムス・ムンドゥス計画・ユーロカルチャー修士課程の関係

- ・エラスムス計画  
(欧州連合内での大学連携)
- ・エラスムス・ムンドゥス計画  
(欧州連合とその他の地域の大学連携)



# 参加学生体験談

## エラスムス・ムンドゥス・ユーロカルチャー 修士プログラム一年目を終えて

津川万理

人間科学研究科  
博士後期課程（派遣時）

現在オランダ・グローニンゲンからアムステルダムの国際空港に向かう電車の中でこの原稿を書いています。つい今週、プログラム一年目を締めくくる一週間のインテンシブ・プログラムを無事終了し、慌ただしく一時帰国の途についた次第です。本稿では、この一年を振り返って私の体験を少しお話し致します。来期のユーロカルチャー修士プログラム参加を考えている方の参考になれば幸いです。



友人たちと

私がユーロカルチャーに参加したのは全くの偶然でした。阪大の人間科学研究科で教育の国際化の研究をしていて、そのまま博士後期課程に進んでよいのか悩んでいた時、たまたま目に入ったユーロカルチャーのポスターの奨学金（二年間ヨーロッパに無料で住める！）につられて応募しました。ありがたいことに大阪大学の推薦をいただけることになり、奨学金付きのヨーロッパ生活が始まったのでした。学部ではアメリカで音楽を専攻し、阪大の修士では教育社会学を研究していた私は、それまでヨーロッパに関して学術的背景どころか一般的な知識や興味以上のものは持っていませんでした。英語以外のヨーロッパ言語は何一つできませんでしたし、ヨーロッパの地理も曖昧でした。恥ずかしいことに、プログラムが始まった当時大きな話題となっていたウクライナの首都がキエフだということすら知らなかったのです。出発前の半年間は阪大の博士後期課程に進学し、出発直前まで研究に追われていましたから、準備という準備もせず、今思えばいい度胸だと思います。

そんな私がこの一年なんとかやってこられたのはユーロカルチャーの手厚いサポート体制のおかげです。思っていたよりずっと課題が多く、残念ながら当初想定していた休暇的なヨーロッパ生活は実現しませんでした。その代わり複数分野に対応できる理論的な基礎と学問的な刺激を得ることができました。ユーロカルチャーは小さなプログラムなので、何か困ったことがあれば教員やスタッフが本当に親身になっ

てくださり、一人一人が大切にされていると感じます。主にヨーロッパ各国から来ている国籍も学問背景も様々なクラスメートとディスカッションやグループワークをするのは、時に大変ですが楽しく生産的です。

私は今でも私の専門分野は教育社会学だと思っているので、ヨーロッパの教育の様々な側面に目がいきます。一学期はドイツのゲッティンゲン、二学期はオランダのグローニンゲンに配属されたのですが、それぞれの国の高等教育のシステムや根底にある考え方の違いを体験し、大変興味深かったです。例えば、ドイツの大学は非常に柔軟で、学生の学び方も千差万別です。対して、オランダでは授業計画（シラバス）がとてもしっかりしていて教育の質保障が高いレベルで実現されていることに驚かされました。また、ユーロカルチャーの学生の自分の教育に責任を持つ姿勢と、複数言語を当たり前のように操る能力を目の当たりにして、日本の教育も多分に学ぶことがあると感じました。

本稿の冒頭に触れたインテンシブ・プログラムは、本当の学会を模したような一週間の集中課程で、ユーロカルチャーの全大学から同学年の学生が集まり、テーマに沿った論文発表を行います。今年のテーマは Uses and abuses of the past で、史学的な観点を盛り込んだ面白い論文がたくさん発表されました。今年はチェコのおロモウツで行われ、歴史的な美しい町並みを楽しみました。出会ったことがない他大学の学生とも、この一年同じプログラムで苦楽を共にしてきたということで、すぐにうちとけることができ、ネットワークを広げることができました。



ブリュッセル旅行  
(プログラムでの研修)

正直に言うと、「なんとなく」で来てしまったため、このプログラムに参加してよかったのかと悩むことはありました。今後のキャリアのことや、これまでの学問的背景や興味とユーロカルチャーの内容との差が大きいこと、ヨーロッパでマイノリティとして生活すること、現地の言語ができないこと、オランダのご飯がおいしくないことなど、悩みは尽きません。しかし、一年目が終わり、紆余曲折あったにせよ、言葉も分からない土地で生活し、未経験の分野で良い成績を修めることができ、多くの友人を作れたという事実を持って、私はこの一年を上出来と呼びたいと思います。

経験してみないと分からないことはたくさんあります。もしこれを読んでいる方がユーロカルチャーに応募しようか迷っているなら、とりあえず願書を出してみて、流れに身を任せてみてよいのではないのでしょうか。意外となんとかなるものですから。

# Erasmus Mundus Euroculture Programme 2016-18



## エラスムス・ムンドゥス（ユーロカルチャー修士課程） 奨学生募集説明会

日時 2015年10月8日（木）12:00～13:00

場所 文学部本館1階 中庭会議室

本プログラムについての説明会を開催します。

応募希望者は必ずご出席ください。

### 潤沢な奨学金の支給を得てヨーロッパ

### 2 大学に留学してみませんか？

大阪大学はエラスムス・ムンドゥス・ユーロカルチャー修士課程のコンソーシアム参加校であり、ヨーロッパ2ヶ国への派遣奨学生を募集しています。

採用されれば、二年間で48,000ユーロ（約630万円）の奨学金の給付を得てプログラムに参加できます。本学学生は、EU圏内8大学のいずれか2校に留学することができます。

### ユーロカルチャー修士課程

エラスムス・ムンドゥス・プログラムは、欧州および欧州域外の高等教育機関相互の協力と人的交流を高めることを目的とした複合的事業です。ユーロカルチャー修士課程は、そうしたエラスムス・ムンドゥス・プログラムの事業の一つで、現代ヨーロッパの文化、社会、政治に関する諸問題を研究するための課程です。本修士課程を修了した学生の多くは、国際機関などで活躍しています。

### ユーロカルチャー修士課程コンソーシアム参加校

#### [EU圏内8大学]

グローニンゲン大学(オランダ)、ウプサラ大学(スウェーデン)、クラクフ大学(ポーランド)、ゲッティンゲン大学(ドイツ)、オロモウツ大学(チェコ)、デウス大学(スペイン)、ウーディネ大学(イタリア)、ストラスブール大学(フランス)

#### [EU圏外4大学]

ブーネ大学(インド)、インディアナ大学(アメリカ合衆国)、メキシコ国立自治大学(メキシコ)、大阪大学(日本)  
※本学からのEU圏外3大学への留学はできません。

### 応募資格

大阪大学卒業者（卒業見込みを含む）、  
および同大学大学院在籍者・修了者  
（大阪外国語大学および同大学院を含む）

※TOEFL580(IBT:92)、IELTS6.5、もしくは  
ケンブリッジ英検（CAE）C1以上が望ましい。

### 応募書類

- 1 申請書(申請画面を印刷して提出。  
\*2016-18への申請画面は10月中頃公表予定。)  
参考：2015-17への申請画面  
<http://euroculturetest.ws05.pageflow.nl/Admission/sFinancing/Onlineapplicationtool2015-17/Default.aspx>
- 2 卒業証明書（英文）
- 3 成績証明書（英文・学部および大学院）
- 4 履歴書（英文）
- 5 留学の動機（英文・A4用紙・スペース込みで4000字（characters）以内）
- 6 論文または論文要旨（英文）  
論文が英文以外の場合は、英語200語程度の論文要旨が必要
- 7 推薦書（英文・2名からの推薦書、1名は阪大の教員）
- 8 パスポートのコピー
- 9 TOEFLもしくはIELTS、CAEの証明書
- 10 パスポートサイズのカラー写真  
（1枚・写真の裏にローマ字で氏名を記載すること）

### 書類提出先 大阪大学文学研究科教務係

### 募集期間（予定）

2015年10月19日（月）～2015年11月6日（金）

### 面接日（予定）

2015年11月12日（木）  
書類審査と面接により、若干名の推薦者を選考します。  
（なお、派遣学生の最終受入はユーロカルチャー運営委員会による審査を経て決定されます）

### 留学期間（大学によって年度開始時期は異なる）

2016年9月前後から2年間

### 奨学生の決定

2016年2月頃に最終決定。

1. 本プログラムに関心のある方は、  
文学研究科国際連携室にお問い合わせ下さい。

Tel: 06-6850-6409

e-mail: [inter@let.osaka-u.ac.jp](mailto:inter@let.osaka-u.ac.jp)

2. 語学能力証明書は発行までに若干の時間を要します。  
早めに受験して書類を揃えておいて下さい。